

社会を明るくする運動

小学生の部優秀作文

パキスタンの少女から学んだこと

戸崎小学校 5年 金栗美海



私は一カ月ほど前、テレビを見てしうげきを受けました。その番組は、世界で起きたきせきの出来事を紹介する番組でした。その番組の中で16才の少女が世界の多くの人を前にうったえていました。その少女はマラー・ユスフザイさんです。マラーさんは女子が教育を受ける権利をうったえて、反対派のグループからじゅうでうたれるという悲げきを体験した人です。それでもマラーさんは逃げることなく、国連本部で「すべての子どもたちが教育を受けられるように」と世界中の人にうったえたのです。私はそのテレビ番組を見て、心をうたれ、そして二つのことを考えました。

一つ目は「学ぶことの大切さ」です。それを教えてくれたのはマラーさんの「たった一本のペンで、たった一冊の本で、たった一人の先生で世界は変わるんだ。」という言葉です。この言葉の意味は、たった一本のペン、たった一冊の本でもあれば……、たった一人の先生がいてくれさえすれば、子どもたちは学ぶことができるということ。算数や国語の勉強の知識や、社会について学び、将来この世界を変えていくための力になるということを伝えたかったんだと思います。

私は、これほど「学ぶということ」を大切に考えたことはありません。私は宿題が多いときやじゅくに通っていて、「きつい」と思ったときなどに「勉強なんてやりたくない」と思ったことが何度もあ

りました。でも、そう思っていた自分はずかしくなりました。どんな状況の中でも、夢を持って学ぼうとしている人もいるのに……。私はたくさんの本、たくさんの勉強道具、たくさんの先生に囲まれているのに勉強に本気に取り組んでいませんでした。それどころか逃げようとしていました。私は「わがままだなあ」と思いました。今、私たちが勉強していることはとても幸せなことだと改めて思いました。自分ではふつうに思っていることやあたり前に思っていることが、幸せなことだということが分かりました。そして「学ぶ」ということは、未来を切り開く力があるということが分かりました。新しい発見が一つ増えたような気がしました。

考えた二つ目は「平和の大切さ」です。マラーさんの国では争いがあつたせいで、いつも通っていた学校がこわされました。本当は学校に行きたいのに行けませんでした。だから家で勉強するしかありませんでした。友達とも外で遊びたいのに遊べませんでした。今、私たちはいつものように勉強をしています。でもマラーさんの住んでいるパキスタンの子どもたちは安心して勉強することも遊ぶこともできなかつたのです。そんな不安な思いを私は味わったことはありません。もし私がパキスタンの子どもたちの一人だとして、はちきれそうな思いをしていたこと

その後、マラーさんが住んでいるパキスタンはどうなったかというところ、争いが終わり平和になったそうです。そして、今では国に学校もあります。きっとマラーさんがうったえたことが力になったのだと思います。私は番組の最後にこのことを聞いて「ほっ」としました。なぜかというところ、マラーさんと国の子どもが争いから救い出されたからです。

けれども、今も世界のどこかで争いが起きています。テレビを見ても争いしているニュースが流れてきています。それを見てとてもつらいです。なぜこういうことになったのかとても気になります。うのはあまり好きではありません。私は争うのはこの前、友達と遊んでいるとき、調子にのって「○○ちゃんの顔っておじさんばい」と言ったことがあります。そのとき友達がちょっと悲しそうな顔をしました。その顔を見て私はちょっと調子にのりすぎたなと反省しました。そして私は自分から「ごめんね。調子にのりすぎたよ」とあやまりました。その後、友達も私もすっきりしました。やはり、争うよりも相手を大切にし、仲良くすごすのが一番だと思います。世界中が平和な世界になったらいいなあと思います。そして私は、どんなじょうきょうの中でも、あきらめたり投げ出したりせず前向きに生きていたあのマラーさんのように、私も生きていきたいなあと思いました。

10TH KIKUCHI INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

第10回 菊池国際交流映画祭

問い合わせ先 菊池国際交流映画祭実行委員会事務局
(市長公室広報交流係) ☎ 0968(25)7252

と き **10月11日(土)・12日(日)** ところ 菊池市文化会館・旧松倉邸一帯

熊本県出身の行定勲監督と俳優の高良健吾さん来菊決定！

第10回の節目となる今回は、熊本県出身の行定勲監督をスペシャルアドバイザーに迎え、スペシャルゲストに同じく熊本県出身の俳優・高良健吾さんを招き、新しいカタチで映画祭を盛り上げていきます。

さらに、映画祭に参加いただいた皆さんに菊池の魅力を感じてもらうため、旧松倉邸（国登録有形文化財）一帯を会場に交流会を行う予定です。国指定重要文化財「菊池の松囃子」をはじめ、山鹿灯籠踊り、少女舞踊団「ザ・わらべ」をご覧いただきながら、伝統芸能と現代芸能のコラボレーションをお楽しみください。

ここから菊池の新しい一歩が始まる――。

■入場料 11日・12日各1日フリーパス券 1,500円

※未就学児入場不可 ※当日1作品 500円

※フリーパス券は、500円の金券として協賛店で利用できます。詳しくは映画祭ホームページ（<http://www.kiff.jp/>）をご覧ください。

■チケット販売

チケットぴあ、きくち観光物産館、道の駅七城メロンドーム、道の駅旭志ふれあいセンター、道の駅泗水養生市場

■スケジュール

▼10月11日(土)

時刻	内容
午前9時30分～	おにいちゃんのハナビ (2010年公開)
午前11時20分～	ティーチ・イン※ 高良(予定) ×行定監督×岐部俊夫 (FMK)
午後0時30分～	横道世之介 (2013年公開)
午後3時10分～	ティーチイン 高良(予定) ×行定監督×岐部俊夫
午後4時～	平成猿轢合戦図 (WOWOWドラマ)
午後5時～	ティーチ・イン 高良×行定監督×岐部俊夫
午後6時～	交流会「きくちの夜会」
午後11時～	真夜中の映画祭

▼10月12日(日)

時刻	内容
午前10時～	軽蔑 ディレクターズ・カット版 (2011年公開)
午後0時30分～	ティーチ・イン 高良×行定監督×イ・キョンジュン (チスル出演俳優)
午後1時35分～	チスル (2014年日本公開)
午後3時25分～	ティーチ・イン 行定監督×坂本監督×岐部としお
午後4時25分～	FORMA (ベルリン国際映画祭 2014 国際映画批評家連盟賞受賞)
午後6時40分～	終了

※ティーチ・イン＝監督や出演者などが対談や客席と質疑応答すること。

緑色に透き通る美しい溪谷と美肌になるヌルヌルの温泉、そして美味しいいもん。豊かな時間をもてなせるものが菊池にはある。昼間から映画を観て、映画を作った人間と観客が交流する。そして、夜は野外上映。朝まで映画談義で盛り上がるのが映画祭の醍醐味だ。

僕が好きな映画祭はその夜に出会いがあって、それがその後の映画作りに繋がって行った。そんな、映画ファンがワクワクするような二日間を僕は目指します！

Profile

行定 勲 (ゆきさだ・いさお)

昭和43年8月3日生まれ。熊本県熊本市出身。日本アカデミー最優秀監督賞をはじめ国内外で多数の賞に輝く。主な監督作品：「GO」「世界の中心で、愛をさけぶ」「北の零年」「春の雪」「円卓こっこ、ひと夏のイマジン」。46歳。



Profile

高良健吾 (こうら・けんご)

昭和62年11月12日生まれ。熊本県熊本市出身。テレビドラマ「ごくせん(平成17年)」でデビュー。NHK連続テレビ小説「おひさま(平成23年)」出演。「横道世之介(平成25年)」で第56回ブルーリボン賞主演男優賞受賞。主な出演作品：「M」「おにいちゃんのハナビ」「軽蔑」。26歳。



■上映作品

【高良健吾氏出演作品】

おにいちゃんのハナビ、軽蔑

横道世之介 (第56回ブルーリボン賞主演男優賞受賞)

平成猿轢合戦図 (行定勲監督)

【映画祭実行委員会推薦作品】

チスル (2012 サンダンス映画祭ワールドシネマ・グランプリ受賞 イ・キョンジュン氏菊池在住)

【坂本あゆみ監督作品 (熊本県出身)】

FORMA (ベルリン国際映画祭 2014 国際映画批評家連盟賞受賞)